

イベント報告

関西・大阪21世紀協会は、「交流と助成」「伝統と創造」「発掘と発信」の3つを事業の柱としています。ここではそのなかのいくつかをご報告します。

伝統と創造

住吉大社御田植神事

6月14日／住吉大社(大阪市住吉区)

今から1800年前、神功皇后が住吉大社に神田を設け、長門国(現在の山口県)から植女を召して御田植奉仕をさせたことにはじまる御田植神事(重要無形民俗文化財)。御田に設えた中央舞台上で、御稔女(みとしめ)による神田代舞(みとしろまい)や、田の周囲で無形文化財の住吉踊りなどが奉納され、多くの参拝者が見入っていました。植え付けられた苗には、強力な穀霊が宿るといわれ、秋に収穫されると神前に供えられます。この神事は明治維新



神田代舞を奉納する御稔女役の安田千尋さん(高校生)。



御田植風景

に際して廃絶の危機に遭遇しましたが、大阪新町廓の芸妓が植女となって廃絶の危機を救いました。現在は関西・大阪21世紀協会(上方文化芸能運営委員会)などが、大阪の誇るべき伝統文化・神事芸能として支援しています。

平成OSAKA天の川伝説

7月7日／天満橋～天神橋一帯の大川

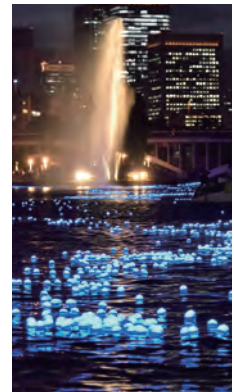
主催：(一社)おしてるなにわ

共催：(公財)関西・大阪21世紀協会

天空の「天の川」を地上の川で再現する、市民参加イベント。第8回の今年は、天満橋～天神橋一帯の大川に約4万個の「いのり星®」(LEDの光球)が放流されました。主会場の八軒家浜船着場では、オペラ歌手の増田いずみさんたちによる七夕コンサートが開催され、美しい音楽とともに約6万人が幻想的な光景を楽しみました。七夕限定メニューなどを販売するグルメブースも設置。天満橋発祥の「天の川カクテル(BAR CADBOLL)」や



増田いずみさん(中央)たちによる七夕コンサート



大川に浮かぶ「いのり星®」

「天の川☆スタードーナツ(ルポンドシエル)」などが人気でした。

発掘と発信

南大阪・上町台地フォーラム

日本最古のダム式ため池「狭山池」

3月29日／大阪府立狭山池博物館(大阪狭山市)

主催：(公財)関西・大阪21世紀協会

古事記や日本書紀にも記載される「狭山池(大阪狭山市)」は、今から1400年前の7世紀初めに築造されました。現在は国の史跡に指定されています。参加者は、現地の見学と併せ、狭山池の土木遺産を保存・展示している狭



ボランティアガイドの説明を受ける参加者(狭山池博物館)

山池博物館を訪れ、古代人の治水に対する思いや、かんがい、土地開発の技術力を見学しました。

五代目中村雀右衛門襲名披露

七月大歌舞伎「船乗り込み」

6月29日／大川(八軒家浜)～道頓堀川(戎橋)

関西歌舞伎を愛する会、株式会社松竹座



中村雀右衛門さん(関西・大阪21世紀協会にて)



戎橋(とんぼりリバーウォーク)にて

1979(昭和54)年に55年ぶりに復活し、毎年7月の大歌舞伎公演の前触れとして水都大阪の風物詩となった「歌舞伎船乗り込み」。今年は中村芝雀さんの「五代目中村雀右衛門」襲名披露ともなり、東西の豪華な顔ぶれが勢揃いしました。八軒家浜(大川)を出て戎橋(道頓堀川)に着くと、河畔から「京屋!(雀右衛門さんの屋号)」のかけ声が飛び、雀右衛門さんが手を振って応えていました。七月大歌舞伎は「関西歌舞伎を愛する会」が取り組んでおり、関西・大阪21世紀協会はその世話人を務めています。